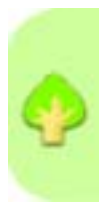


プログラム名	動物たちのかくれんぼ						
対象年齢	年中（4～5歳）						
ねらい	メッセージ	・森の中に多様な生き物がいることに気づこう					
	発見・体感できること	・森の暗さ、湿気、地面の感触、においなど ・動物の種類によって隠れ場所の探し方に違いがあること（体の大小や生息する場所など） ・動物が隠れているときの気持ち					
参加者のめやす	幼児	5人～15人	/	支援者	1人		
実施時間	30分						
フィールド							
	森・社寺林・公園	山・里山	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期							
自然を感じるためのヒント							
時間	活動			配慮・アドバイス アレンジ			
準備	フィールドへ移動する			<p>フィールドに出る前に、あらかじめみんなで「ぞうり隠し」の歌を聞き、歌詞の内容をイメージしておきます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「ぞうり(くつ)隠し」の遊び方 みんなのくつを片方ずつ並べ、歌に合わせて順に指し示していき、歌が終わったところで指された物の持ち主がオニになる。 オニ以外の方は片方のくつを自分で隠しに行き、隠し終わったらオニが探しに行く。 隠す物は他の物でもできるが、くつで行うとケンケンで移動することになり、楽しさが増す。 伝統的な「ぞうり隠し」の歌詞のほかに、オリジナルの歌詞を考えて歌ってもよい。 </div>			
10分 (,)	<p>「ぞうり隠し」の歌をみんなで歌う</p> <p>片方のくつなどを動物に見立てて並べ、歌いながらオニを決める</p>			<p>わらべうたに親しみが持てるように、くつなどの物を動物に見立てて探すことを子どもたちに話します。</p> <p>くつなどの物をいろいろな動物に見立てることで、森にすむ動物がどのように隠れているか、どのような気持ちなのかを感じられるようにします。</p> <p>歌のリズムにのりやすくしたり、オニに当たるスリルを高めたりするためにステッキ（棒状の物）で指し示すと効果的です。</p>			



時間	活動	配慮・アドバイス アレンジ
<p>5分</p> <p>5分</p> <p>5分</p> <p>5分</p>	<p>オニ以外の子は自分のくつを片方持って、森の中へ隠しに行く</p> <p>くつを隠し終わったらオニがさがしに行く</p> <p>オニは見つけたくつを並べる</p> <p>今日の遊びを振り返る</p>	<div data-bbox="574 336 813 470" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>オニに当たるのは誰かな？ 緊張の瞬間！</p> </div> <div data-bbox="821 313 1173 560" style="text-align: center;"> </div> <p>隠す場所の安全性をあらかじめ確認しておき、範囲をロープなどで示したり、子どもの経験の度合いによって、隠す範囲を変化させましょう。</p> <p>見立てた動物の種類によって隠し場所を変えるのもよいでしょう。 (例)鳥は枝の上、ネズミは木の根っこに隠す</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="734 828 965 985" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1029 828 1260 985" style="text-align: center;"> </div> </div> <p>オニの人数を増やしていくこともできます。</p> <p>他の人が隠した場所や、見立てた動物などについて話し合い、森の中にさまざまな場所があることや、さまざまな生き物がいることに気づくことにつなげましょう。</p>
<p>【異年齢への対応】</p> <p>年少：あらかじめくつに動物のカードを貼り付けておくと、イメージしやすくなります。</p> <p>年長：オニ以外は動物カードを引き、その動物が隠れそうな場所を考えて隠します。 オニがくつをなかなか見つけれない場合、ヒントとしてカードをとよいでしょう。</p>		
<p>【園や家庭へ帰ってから】</p> <p>プログラムで登場した動物たちはどんなくらしをしているのか（どこに棲^すんでいるのか、何を食べているのかなど）について、動物の図鑑で調べてみましょう。</p> <p>森に棲^すんでいる動物たちはどのような関係でつながっているのか（食物連鎖）について考えてみましょう。</p> <p>森に棲^すんでいる動物たちのために自分たちに何ができるか、みんなで話し合ってみましょう。</p>		
<p>準備物・教材等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビニールシート（悪天候の場合でもくつを並べられるように） ・ロープ ・（動物のカード） 	

